

70周年記念大会を開催しました

12月17日「社会福祉法人 大分県福祉会 70周年記念大会」を開催。有松理事長の挨拶に続き、役員功労者の方々に感謝状を贈呈、永年勤続職員6名を表彰しました。後半の「福祉現場のひろげかた」と題した、一般財団法人 たんぽぽの家、常務理事の岡部 太郎さん、UMA/design farm 原田 祐馬さんによる記念講演とトークセッションは、ブランディングについて法人全体で考えを深めることができた有意義なひとときになりました。



健康一番！

この数年は新型コロナウイルス感染症に振り回され、張り詰めた緊張感を感じることが続いているが、ポジティブな思考で心のゆとりを持つように心がけています。最近はお菓子を作ったり、庭に花を植えたり、ゴルフを始めたりして、楽しく自分時間を過ごすことが増えました。生クリームを泡立てるときの腕の疲れや、庭の土の香り、青い空に向かって飛んでいくボールを追う感覚が、良い刺激となっているようです。自然に触れ、心も体もリラックスでき、仕事への意欲にもつながっています。

おきやまの園

うえの園・サービス管理責任者 平安 恭子

TOPICS

森の木 ウキウキな「キッザニア福岡」

招待を受けて「キッザニア福岡」へ行ってきました。警察署や運転免許試験所などいろいろな施設での職業体験をする子どもたち。初めての「お仕事」にウキウキが止まらない一日でした。みんな将来どんな仕事をするのだろう、楽しみです。



別府厚生館 作ったよ!とっておきのお弁当

冬休み中の家庭支援と食育を兼ね、こども料理教室を開催。感染症対策をしながら家庭ごとに「お弁当作り」に挑戦しました。おかずやおにぎりの詰め方を工夫した自分だけのオリジナルランチボックスに、子どもたちは大喜びでした。



滝尾保育園 初めてのラグビー教室

4歳児クラスでラグビー教室を開きました。初めて見るラグビーボールに興味津々の子どもたち。触れたり蹴ったりするのが嬉しくて、あっという間の1時間。この経験を通して、さまざまなスポーツに興味をもつきっかけとなれば嬉しいです。



明野しいのみ保育園 卒園児との嬉しい再会

昨年度卒園した小学1年生を招いた交流をおこないました。久しぶりに会う友達や保育士と会話が弾み、園内は笑い声で溢れました。在園児からは小学校について質問があったり、けん玉作りやサッカーをして楽しい時間を過ごしました。



うえの園 「だんらん食」で大満足

利用者と担当支援員は年1回、「だんらん食」として一緒に夜ご飯を食べます。今回はお好み焼き。自分で生地を裏返したり、栄養士が目の前で焼いたりして食べるお好み焼きは一味違います。みんな焼けるのが待ちきれない様子でした。



清明あけぼの学園 年に一度のインスタント麺

年越しそばの代わりは、自分で選んだ好きなインスタント麺でした。普段はあまり食べることがないので、児童には特別感のあるご飯なんです。わくわくした様子でお湯を注いで、それぞれ買ったラーメンを見せ合いながらおいしそうに食べていました。



イチローの部屋 第8回

私たちは未来の福祉をどうつくるのか？（後編）

前編では、受身では福祉分野は変わらないという話をしました。現場で「時代に合っていないのでは？」というモヤモヤがあれば、その感覚は大切にしてください。保育や障がいのある人たちの支援は日進月歩です。長年の蓄積がある専門的な施設が福祉会には6つもありますが、仕事内容はグラデーションのように少しずつ関連する部分もあり、決してそれぞれが無関係ではないはず。本業ではないと、知識や支援内容がアップデートされていないこともあるかもしれません。法人内に専門性のある仲間がいるのですから、活かさないもったいない。昨年11月に開催された70周年記

念プロジェクトは、「お互いをもっと知ろう」という意見から始まったと聞きました。ただ視察するだけでもいろいろな発見があったのではないのでしょうか？ 今後の広がりにも期待しています。福祉の事業はトップダウンより、「こうだといのに」「こうなればいいのに」という現場の感覚から、改善を繰り返す方が良いと思っています。今は100周年につなげるための「矢印」を立てる時期。みんなが現場目線で考える未来の福祉をヒントに、経営につながるアイデアがどんどん生み出されるといいなと思っています。

社会福祉法人 大分県福祉会 社内報ぎゅつ 第8号
発行日 2023年3月15日 / 発行元 社会福祉法人 大分県福祉会 / 制作担当者 藤岡大樹、安部浩、米野智恵、宮成俊佑、後藤美佳、岩崎祐貴、城戸海咲妃、浅利桃子、江田望、重田綾、若林歌織 / 編集 竹尾真由美 / デザイン UMA/design farm
連絡先 syanahou.or@gmail.com

vol.08
2023.03

ぎゅつ



特集 明野しいのみ保育園

子どもたちの丈夫な心と体のために

子どもたちの丈夫な心と体のために

今回は明野しいのみ保育園取材しました。子どもたちの心身の成長を促すプログラムや、職員がチームとして連携を深めていくための取り組みについてお話をお聞きました。

成長の喜びを分かちあう

現在、分園含め149名を受け入れている明野しいのみ保育園。2020年には建て替えをおこない、3代目の園舎となりました。保育の特色の1つに「担当制保育」があります。子ども4〜7人に対して保育士1名が担当として付きます。子どもにじっくり関わることで成長にいち早く気づくことができます。保育士の宮岡 菜月さんは、「『今日は鉄棒で前回りができるようになりました』など、日々の小さな成長を保護者に伝えるようにして、子どもの成長と一緒に喜ぶとき、やりがいを感じます」と言います。そうすることで、保護者との信頼関係もより深まっていくそうです。

ほかにも、「安田式体育遊び」のノウハウを用いた保育も実践しています。体育を通じて楽しむ心と身体の成長を大切に、子どもたちの「やってみたい」という興味や挑戦を促し、「できた」という自信につなげていきます。園長の阿南 奈緒美さんは「成功体験だけでなく、



絵本の読み聞かせの様子。温かく和やかな雰囲気です。

時には失敗も経験しながら人としての生きる力を身に付けてほしいと思っています」と説明してくれました。

大切なコミュニケーション

「保育はチームでおこなうもの」と力強く話してくれたのは主任保育士の児玉 真美さんです。保育園で実施している研修とは別に、定期的に職員間で話し合いの場を設けています。コロナ禍で、さまざまなイベントを断念せざるを得ない状況が続きましたが「コロナ禍でもできることは何か?」を何度も話し合って可能なことから具体化していたそうです。また、OJTの一環として新入職員に2〜3年ほど先輩の職員をメンターにして、仕事で生じた疑問や悩みを相談しやすい関係づくりに努めています。こうした綿密なコミュニケーションを図るための取り組みもあって、どの職員からも「困った時に



明野しいのみ保育園の強みについて話す阿南園長



遊びを通して主体性を育みます。

お願いしやすい」「連携が取りやすい」という声を聞くことができました。

日々の連携によって、職員の方々がお互いを信頼して、それぞれ自信をもって働いている姿が印象的な明野しいのみ保育園。園全体の雰囲気が明るく、子どもたちとの温かい関係性を感じることができました。

(取材 森の木 岩崎 祐貴・城戸 海咲妃)

スタッフ紹介



主任保育士
こだま まさみ
児玉 真美さん
週1で通っているキックボクシングにハマっており、いい汗流しています。



保育士
みやおか なつき
宮岡 菜月さん
アイスのパルム(特に苺味)が好きです。がんばったご褒美に食べます。

どんな仕事?

主任保育士

保育士のリーダー的役割です。特定のクラスを担当することはありませんが、園全体を把握しながら、保育のサポートや助言、ときには園の運営などの役割を担います。

職員のある1日

7:00 受け入れ、アプリでの出欠把握、室内環境の整備。保育(室内遊び、戸外遊び)	9:00 ミーティング(全体で1日の予定と確認事項の共有)	11:30 給食(年齢ごとに異なる)、午睡見守り	12:00 交代で休憩	13:00 午睡見守り、事務作業、会議など	15:00 おやつ準備、片付け、降園準備、保護者対応	18:00 延長保育(全クラスすみれ組へ)	19:00 保育士2名でおやつ準備、保護者対応、施設確認
---	---	------------------------------------	-----------------------	---------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------	--

マイブーム 教えてください!

私のマイブームは...

JAZZERCISE

(ジャザサイズ) です!

教えてくれる人



明野しいのみ保育園
ささき まい
佐々木 舞さん

音楽に合わせて踊ることが大好きで、友だちに教えてもらったのをきっかけに始めました。初めは、インストラクターの動きに合わせて踊ることや筋トレについていっただけで必死でしたが、続けていくうちに自分の体が日々変化することに気がつきました。挑戦しても長続きしないダイエットもこれなら続けられ



気分が上がるカラーでダンス

そう! おいしい物もたくさん食べられる! 大好きな音楽に囲まれて、笑顔いっぱいダンスできることが何よりも幸せです♡

ジャザサイズの豆知識

心拍数を上げ、ビートに合わせてボディを燃焼させるフィットネスプログラム。カーディオ、筋トレ、ピラティス、ヒップホップ、ヨガ、キックボクシングを融合させたダンス。ヒット曲に合わせて楽しく脂肪燃焼します。

味なランチ レポート



04RHINO の 卵黄おにぎり

私の最近の「推しご飯」は大分市のかんたんエリアにある「04RHINO(ゼロヨンライノ)」です。お店でしか食べられない卵黄のおにぎりは一度食べたら病みつき! 私はお茶も付いているセットで注文します。お茶も私自身聞いたことがなかった「因尾茶」なるものがあり、なんだか健康に良さげなので飲んでみると癖がなく、おにぎりと一緒に合いました。そのほかにも豚汁、プリンなどメニューも豊富です。

レポーター



うえの園
さとう みか
佐藤 美香さん

だいふく文庫

橋の上で

文 湯本 香樹実
絵 酒井 駒子
出版社 河出書房新社

選・清明あけぼの学園 ひがししゅんこ
東 純子さん

悲しいことが続いて「いま、ここから川にとびこんだら」と橋の上に立つ少年。そこに不思議な雪崩セーターのおじさんが現れ、心の中に流れる地底の水の音、その水が流れてできる自分だけの湖を思い浮かべるよう語りかけます。少年は思いとどまり、眠れない夜に、湖を思い浮かべるようになります。心の湖を描いたページが美しく、気持ちに余裕をもちたいときに思い浮かべる1冊です。

お気に入りの一文

おながすいていても、ないいても(中略)
たったひとつの、きみだけのみずうみがある

次は、滝尾保育園 波多野 加奈子さんです お楽しみに!

あの子に 会いたい

お友達と元気いっぱい遊んでいた楓夏さんは今、どうしてる?



別府厚生館
ふるしょう ふうか
古庄 楓夏さん 9歳



7歳から約3年間入所していました。「こどもレクリエーション」での潮干狩り、みんなとの映画鑑賞、当時の職員や実習生の方と園庭で遊んだこと、たくさんの楽しい思い出を今も鮮明に覚えています。現在は短大で保育や幼児教育を学び、小学生からの夢である「子どもたちに関わる仕事」に就くことを目標に日々邁進しています。別府厚生館で保育実習に臨めたことは自分にとって大きな財産です。